

那覇署主催「秋の交通安全運動開始式」で交通安全啓発

～飲酒運転根絶や高齢者事故防止等に関し、街頭活動で呼びかけ～

日本損害保険協会九州・沖縄支部 沖縄損保会（会長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、9 月 19 日（金）に「パレットくもじ前広場（那覇市）」で開催された、秋の交通安全運動開始式に参加しました。また、開始式後は、街頭活動に参加し、飲酒運転根絶や高齢者交通事故防止を市民に呼びかけました。

開始式では、沖縄県警察那覇警察署 島尻 哲也 署長から、「那覇署管内では、9 月 18 日現在、人身事故が速報値で 266 件発生し、前年の同じ月より 58 件減少しているものの、残念ながらお一人がお亡くなりになっている。中でも、飲酒がらみの人身事故が 6 件発生している。引き続き、飲酒運転や交差点事故の原因となる、一時停止違反、歩行者妨害等の取り締まりを継続していく。」と挨拶があった後、飲酒運転根絶等に関する交通安全宣言が行われました。

式典終了後、那覇警察署や那覇地区交通安全協会等とともに、歩行者にチラシ等を配布し、「反射材着用の重要性」や「STOP! 飲酒運転」を中心に、交通安全を直接呼びかけました。

沖縄損保会では、今後も沖縄県警察や関係機関と連携し、交通事故防止の啓発等を通じて、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施して参ります。



島尻那覇警察署長からの挨拶



交通安全運動呼びかけの様子



街頭活動の様子



配布した啓発物